令和４年度

租税教育実践発表会資料

石巻市立雄勝小学校

教諭　齋藤　咲花

１　はじめに

当学区は旧雄勝町からなり、その多くはリアス式海岸の天然美を誇る地である。震災前の生産の基盤は水産業、硯スレート業、水産加工業に区分されていた。特産の硯は伝統工芸品として国の指定を受けている。震災により人口が 4000 人から 1000 人に減少してしまった。地域や保護者の学校の教育活動に対する関心は高く、協力的で地域復興・学校復興への思いも強い。

本校は、平成２９年４月に旧雄勝小・中学校と旧大須小・中学校が統合し、新設校としてスタートした。石巻市雄勝地域唯一の学舎として子供たちの教育を担っている。

子供は明るく素直で、学習や運動に一生懸命取り組んでいる。旧雄勝町地区に居住する児童生徒のほか、東日本大震災で被災し、地区外からバス通学する児童生徒も多い。令和４年度からは、公益社団法人 MORIUMIUS（モリウミアス）の漁村留学による生徒の転入学もある。また、小中併設校という特色を生かし、小中合同行事の開催や、中学校の教員が小学校へ授業を教えに来るといった取り組みも行われている。

２　児童の実態

本学級は第５学年と第６学年からなる複式学級であり、第５学年は男子４名、女子１名、第６学年は男子１名、女子３名の計９名で構成されている。６年生は社会科で日本国憲法や国民の義務について学習しており、税金についても少しだが触れている。一方で５年生は税に関する学習は初めてである。そこで今回、租税教室を実施するにあたり、児童が税金についてどのように捉えているのかを把握するため、アンケートを行った。結果は以下のとおりである。

質問	回答　８名
１　税金にはどんな種類があるでしょうか。	・消費税（３名）　・食費税（１名） ・わからない（４名）
２　税金は何に使われているでしょうか。	・建物を建てる。 ・学校の教科書のお金になる。 ・ロケットの開発になる。 ・天皇陛下にあげる。 ・国民に使われる。 ・わからない。（３名）

３　指導にあたって

税金とは、国民の生活を支え、豊かな社会を形成するために必要不可欠なものである。それと同時に、私たちにはそのサービスを支え、維持していくために納税の義務を果たさなくてはいけない。将来を担う子供たちにも税の種類や使い道、必要性について学習する必要があると考える。

そのため、今回、「税のしくみ」について取り上げ、調べ学習を通じて学習に取り組ませることで税金について身近に感じさせ、考えを深めさせたい。

アンケートの結果から、身近な税金である消費税については知っている児童が複数いる一方で、わからないと答えた児童が約半数いた。そのため、まずは租税教室前に税金の種類について知ることができるよう、調べ学習を行う。また、税金の使い道についての知識も乏しいため、この機会に、正しい知識を身に付けさせたい。

６年生については小中連携により、中学校の先生から税について指導を受けている。今回の租税教室を通して税金に関する知識や考え方を確かなものにしていきたい。

また、５年生については社会科の授業の中で税金について学習する機会がないため、租税教室を通して税金についての知識を身に付けさせたいと考える。

４　指導計画

時	主な学習活動	評価規準と評価方法
１本時	・税金の種類や使い道についてタブレットを活用し、調べ学習を行う。	【態度】税金に関心を持ち、意欲的に調べている。 【知・技】税金について正しい知識を身に付けている。
２	・租税教室に参加し、税についてのお話を聞く。	【態度】税金についての話に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。
３	・税金のしくみについて、タブレットを活用し、調べる。 ・税について分かったことや考えたことを振り返る。	【知・技】タブレットを使って正しい知識を身に付けようとしている。 【思・判・表】税金について学習したことを通して、自分の考えを深めている。

５　指導課程

	主な学習活動	**指導上の留意点、評価**
導入	１　アンケート結果を共有する。	
展開	２　税金について調べ学習を行う。 〇税金にはどのような種類があるのでしょう。 〇税金の使い道を調べましょう。 ３　税金の種類や使い道について調べたことを発表する。	・アンケートの問いをもとに、実際はどのようになっているのかについてタブレットで調べ学習を行うよう指示する。 ・国税庁のＨＰなど、信頼のおける情報を選ぶことを伝える。 【知・技】税金について正しい知識を身に付けている。（ワークシート、態度）

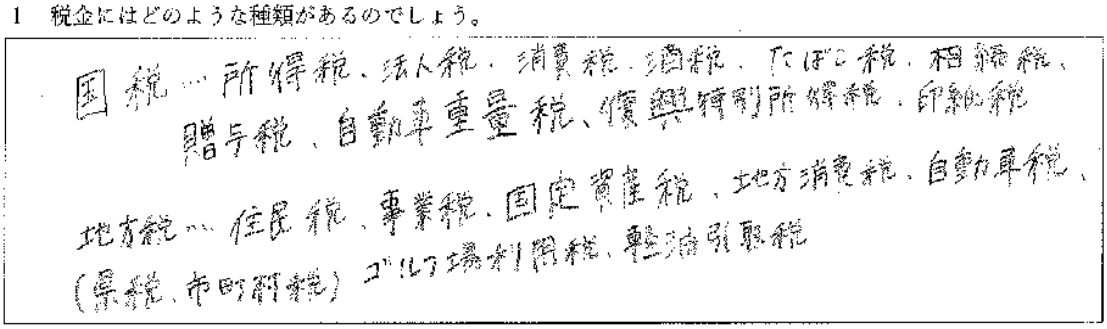
	・国税と地方税の２つに分けられた。 ・たばこ税や自動車税のような名前のものもある。 ・身の回りのものに多く使われていた。	
まとめ	３　本時の振り返りをする。	・調べて分かったことや考えたことを共有する。

６　児童の様子

アンケートにもあった通り、児童は税金の種類などの知識は乏しく、あまり想像がついていない様子だった。調べ学習を進めていくと、様々な種類の税金が出てきて、「こんなにあるの」などと言った驚きの声も聞こえてきた。また、税金はさらに国税や地方税に分けられるといったことまで調べる児童も見られた。

また、税金の使い道を調べていくと、学校に使われていたり、道路に使われていたりと身近なところに多く使われていることに気づくことができた。

７　調べた内容



2　税金の使い道を調べましょう。

国税の使い道

・社会保障費（健康や生活を守る）
・公共事業費（道路や住宅などを整備）
・科学振興（教育や科学技術の研究の補助）
・防衛費（国の防衛のため）
・経済協力費（海外援助など）
・新しい研究や開発

地方税の使い道

・福祉と保障に16.9%
・教育と文化に16.5%
・労働と経済に6.5%
・生活環境 2.9%
・都市の整備 11.9%
・企画、総務 9.8%
・公債費、税関係経費 25%
・警察と消防 12.6%

1　税金にはどのような種類があるのでしょう。

国税	地方税
・所得税・法人税・相続税 ・贈与税・消費税・酒税 ・たばこ税・自動車重量税	・住民税・事業税・地方消費税 ・固定資産税・自転車税

2　税金の使い道を調べましょう。

主に国民の生活や健康・安全を守るために使われています。また、教育や科学技術振興に関する歳出は国の国際的な競走力を高める投資としても重要です。
税金の使い道として最も割合が大きいのが社会保障費です。医療、年金、介護など、私たちの生活を守るために欠かせないものです。

８　租税教室の様子

租税教室では、石巻法人会の先生が税金の使われている身近な場所の紹介や、税金の種類についてスライドで分かりやすく説明してくださった。その後、ＤＶＤを視聴し、税金がなくなったらどのような世の中になるのかを考えた。子供たちにとって、税金は様々なところで使われていることを知り、なくてはならない大切なものであるということを実感できる貴重な機会となったと考える。

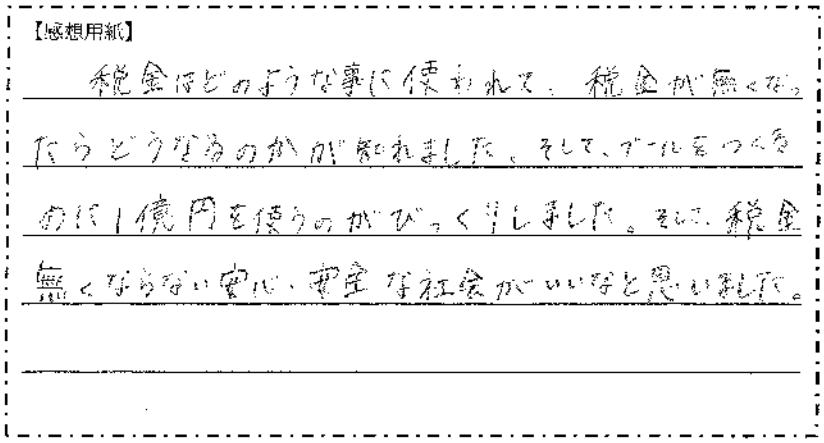
９　児童の感想

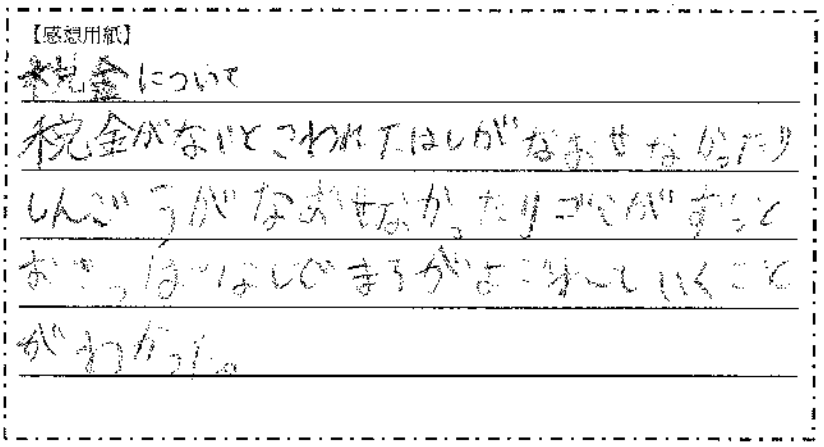
【感想用紙】

税金にはいろいろな種類があって、いろいろなことに使われていることを知りました。
税金がなくなったら、メリットもあるけど、デメリットのほうが多くあると思いました。
税金は、あったほうがいいけど、税金はたくさんとられるのも大変だと思いました。

【感想用紙】

アニメを見て、税金が無いと建物がこわれたりしても、なおせないしかがもしてな。
大量のお金をはらわなきゃいけないから税金は大事に使っていかなくちゃダメということがわかった。


【感想用紙】
税金はどのような事に使われて、税金が無くなったらどうなるのかが知れました。そして、プールをつくるのに1億円を使うのがびっくりしました。それに、税金無くならない安心、平和な社会がいいなと思いました。


【感想用紙】
税金について
税金がないとこわれたはしがなおせなかったりしんごうがなおせなかったりゴミがすてられなくなってしまうがよく分かっていくことがわかった。

10　おわりに

本時の学習、租税教室、振り返りの学習を通して、子供たちの税金に対する知識は深まったと感じる。特に、税金がなくなってしまった世の中をシュミレーションすることで、税金の必要性が強く印象に残った児童が多かった。また、税金の負担について考えている児童もいたため、学級で話し合う機会を設定し、一層、税金への意識が高まるようにしたい。この学習は将来を担う子供たちにとって貴重な学習になった。